

平成25年度（第4回）
福岡市総合図書館運営審議会

日時：平成25年9月13日（金）

午後 1時30分～

場所：福岡市総合図書館第1会議室

〔次第〕

1 開会

・館長挨拶

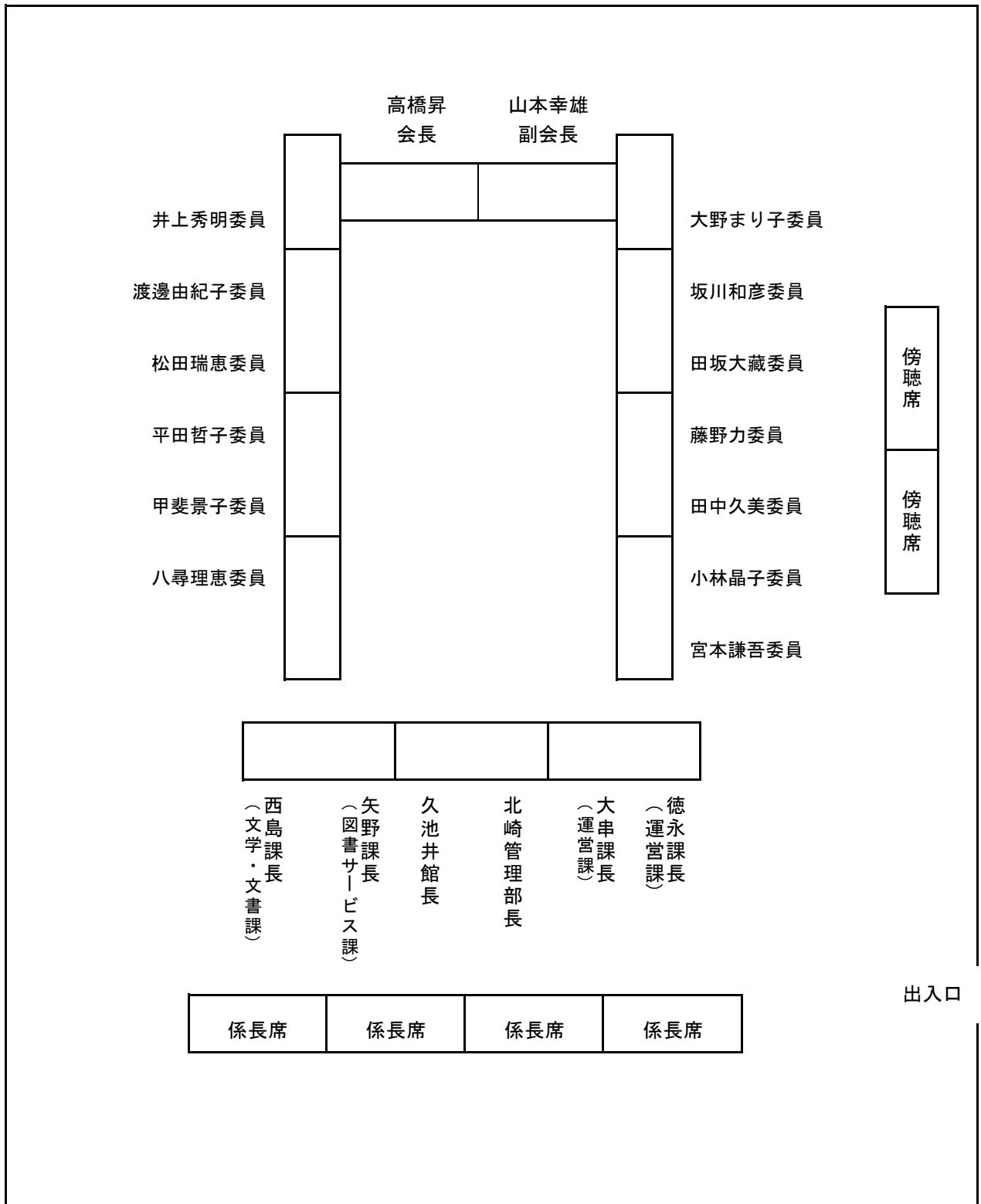
2 議事 新ビジョンについて協議

図書館サービス関連について

運営関連について

3 閉会

平成25年度 第4回 福岡市総合図書館運営審議会 座席表



これまでの諮問項目に対する意見

1. 施設関連

- ◎ 東区、南区、西部地域には 30 万冊～50 万冊所蔵する中規模拠点となる図書館が必要。
- ◎ 子どもや孫の世代の 50 年後 100 年後を見据えた図書館政策をお願いしたい。
- ◎ 長期的なビジョンとしては総合図書館に準じる規模の図書館がもう一館必要。
- ◎ 早良区次郎丸あたりに分館の設置。
- ◎ 1 階の喫煙室を廃止し、他に有効な活用法はないのか。
- ◎ 以前のビデオブースの場所や 1 階のショーケースの有効活用。
- ◎ 札幌市地下鉄駅のコンコースに図書館のカウンターが開設されている。この方式は大変参考になるのではないか。また、同時に貸出スポットを増やして欲しい。
- ◎ 分館は学習室がないことも問題だと思う。
- ◎ 遠い将来で良いのですが、地域の核となる拠点館づくりを目指していただきたい。このまま今ある総合図書館と 10 分館だけで将来構想を描くというには限界があると思う。

2. 図書館サービス関連

図書館サービスの方向性として、市民一人ひとりに本を届けることができるということ意識して欲しい。高齢者や障がい者にきちんと伝える、届けるという意識があれば、それなりに工夫も生まれる。理念や視点の中に書き加えて欲しい。

また、人と人とのふれあいがある図書館であって欲しい。

図書資料部門

① 図書資料

- ◎ 本を大切に扱う、必ず返すように啓蒙に取り組んではいかかがか。
- ◎ 選書を厳しく行い、多くの利用者にとって望ましい本を選ぶのが大切。

② レファレンスの充実

- ◎ レファレンスの認知度を高めるには、カウンターに質問例などを表示して、誰でも利用できることを宣伝するのが必要では。
- ◎ 人口が増え、企業や事業を起こす人が増え、図書館としての支援が必要であり、受け皿を増やすべきである。

- ◎ レファレンスという言葉は馴染みが薄い。子どもたちにもわかりやすい言葉にして欲しい。
- ◎ 分館でレファレンスを強化するのは、スペースの狭さや人員が少ないことから、改善は難しいと思う。
- ◎ レファレンスという言葉もわかりやすくすれば利用者も増えると思う

③ ホームページの充実

- ◎ ホームページの充実としてレファレンスを受け付けるようにすると、利用しにくい地域の利用者が相談サービスを受けやすくなる。
- ◎ 県立図書館では子供向けの推薦本が、中身の紹介文まで読め、また、子どもの調べ学習用にテーマごとの調べ方が紹介されている。単独に同じものをつくるのが難しいなら、協力関係を築いてリンクを張るとか、借用とかできないか。

④ 乳幼児の読書習慣

- ◎ 乳幼児が図書に親しむ習慣をつけるよう、幼児ではなく、その父母への働きかけを行うよう課題を修正してほしい。
- ◎ 小さい時期から絵本に親しむ機会を作って欲しい。

⑤ 貸出機能の充実

- ◎ 移動図書館での遠隔地への貸出しを行ってほしい。
- ◎ 団体マップを市民にも配布し、公民館の文庫などをもっと紹介できないか。
- ◎ 「子どもプラザ」に団体貸出により地域文庫を置き、貸出ができればよい。
- ◎ 公民館でも予約本の受け取りができればよい。
- ◎ 貸出ポイントとして団体貸出や学校図書館への貸出しを増やしてはどうか。
- ◎ 貸出ポイントを増やす検討をぜひ願います。例えば、働く人向けに、コンビニを利用して貸出・返却を行うなどの方策がある。
- ◎ 離島には、図書館の方から図書資料や映像資料を届ける必要があると思う。
- ◎ 利用率の低い地域への移動図書館車をぜひ稼働して欲しい。
- ◎ 図書サービスの拠点として、コンビニは考えられないか。コンビニだったら若い人からお年寄りまで集まってくるので、自宅で検索して予約をかけて、コンビニで受取り、返却もコンビニでということが出来ればと思う。
- ◎ 移動図書館はもちろん離島図書館・ビデオの貸出など、他の分館と違う、離島などの市民への対応ができるような取り組み・方向性を取っていただきたい。

⑥ 返却機能の強化

- ◎ 返却ポストを一日中開ければ便利である。
- ◎ 本の返却については、返却場所を公民館や学校など福岡市の施設をうまく使った連携の取り方を、もう一歩も二歩も進めてやっていただきたい。

⑦ 地域文庫の充実

- ◎ 地域文庫をどの公民館にも置くよう働きかけ、冊数も増やして欲しい。
- ◎ 公民館の図書ボランティアは高齢化により閉鎖せざるを得ない所があるので、公民館の図書ボランティアと連携する必要があると思う。
- ◎ 団体貸出は大変な業務であるため、そこにボランティアを活用したらどうか。また、総合図書館にはボランティアに来てもらい、公民館の図書室には職員を派遣し、指導をして欲しい。

⑧ ボランティアの活用

- ◎ 年々削減される予算に対抗する手立てとして、今後、ボランティアの活用などあらゆる方法を検討してほしい。
- ◎ 予算の関係で職員や司書が増やせないならば、司書がボランティアを指導して、底上げを考えてはどうか。
- ◎ 分館は人員が不足しているので、ボランティアを増やし対応すべきだと思う。

⑨ 読書ボランティアの研修

- ◎ 絵本の読み聞かせ講座などを開設して欲しい。
- ◎ 家庭や地域、学校読み聞かせ等へ、読書活動の推進拡大を図っていくためには、読書ボランティアの研修が欠かせない。家族へ研修会を行うなど、もっときめ細やかに実施して欲しい。
- ◎ 読書ボランティアとしての基本的な共通の知識・教育として育成をしていく事が大切。ボランティアは募集する時代ではなく育成する時代だと思う。
- ◎ 文庫活動ボランティア講座の見直しを検討して欲しい。

⑩ 学校図書館・学校教育への支援

- ◎ 総合学習に図書館を利用することを周知することが必要。
- ◎ 少年科学文化会館の1日学習のような制度を図書館でもできないか。学校の初任者研修で図書館を見学する方法もある。
- ◎ 学校司書と図書館司書の交流の場を設け、連携し、成果を上げて欲しい。
- ◎ 学校の読書ボランティアや学校の司書が集まって情報交換したり勉強会が行われている。そこに図書館の司書も参加してもらえば、より良くなると思う。

- ◎ 図書の達人が学校に来て欲しい。図書館はただ資料を提供するだけでなく、図書館が持っているレファレンス機能など、いろいろな図書館の機能を広めて欲しい。
- ◎ プロと呼べる専門的な知識を持った司書の育成をお願いします。児童書の読書活動は、主に小学生が中心。中学生以上の図書に触れない空白期間を埋める活動や働きかけの取り組みを期待する。
- ◎ 国からの補助金を活用し、総合図書館が中心になって、図書館ネットワークを確立すべきではないか。

⑪ 高齢者サービス

- ◎ 生涯学習というのは図書館が担うべき役割だと思うので、読書会などかを考えて欲しい。
- ◎ 高齢化を見越して、お年寄りが来やすい、親しみやすい図書館にすべきだと思う。交通の便が悪いため、何か福岡市図書館独自の魅力が必要だと思う。
- ◎ 文字サイズや案内掲示など高齢者に優しい図書館像を目指して欲しいと思う。

⑫ 情報発信

- ◎ イベント等の情報を全体で共有して欲しい、広く広報して欲しい。
- ◎ 出前講座で図書館の技能や知識を市民に提供することを積極的に取り組んで欲しい。図書館に人が行くのではなく、図書館が動くといったような視点を持つことが大切。
- ◎ 外国人観光客に向けて情報発信を行うなど、図書館にはいろいろな役割がある。

⑬ 情報化の進展

- ◎ 現在の中高生・学生・一般の方のタブレットの利用が非常に多いので、誰でもがタブレットを使って検索出来る、書籍だけではなくて、自分の端末で検索しながら学習する。そのような体制を整えるのもサービスの一環と思う。
- ◎ 懇話会の方向性「これからの図書館では、パソコンルームの増設、無線 LAN の導入、商用データベースの充実など求められるであろう。」は今後の図書館にとって必要な方向だと思う。

文書資料部門

① 公文書・行政資料の収集・保存・提供

- ◎ 公文書の収集資料数は年々減っている。収集に努めて欲しい。
- ◎ 公文書も長期に携われる人の配置が必要である。
- ◎ 公文書館法の理念に則った資料の公開・提供ということを書き込んで欲しい。

- ◎ 行政資料に関して、市民に対して公開というものが弱い。それに関してどこまで貢献出来るか未知数なので、その辺りに関しても図書館として取り組んでいく、目指していくという方向性だけは盛り込んでいただきたい。

② 古文書資料・郷土資料の収集・保存・提供

- ◎ 郷土資料室の照明は暗いので、レイアウトや雰囲気を考えて欲しい。
- ◎ 地域資料の充実が必要なので、貸出の検討より貴重な資料を守るために管理を強化して欲しい。
- ◎ 郷土資料・歴史資料に関しては、民間にできない部分だと思うので、ぜひこの点は強化していただければと思う。

③ 福岡市文学館

- ◎ 文学館についての表現がわかりにくい。文学館が将来的にどうありたいかを表現した方がいい。いぜんから言っているが、館内の活用計画をもう少し、抜本的に考えれば文学館のイメージは変えていけるのではないかと思う。もう少しきちんと将来計画を含めて記載した方がよい。
- ◎ 天神にある赤煉瓦文化館の文学館についても、あの場所を活かしたアピールを是非、行って欲しい。
- ◎ 福岡市文学館については、分散する展示室をぜひ一箇所に集約していただきたい。
- ◎ 赤煉瓦文化館は建物の雰囲気もすごく良く、夜話や講座などとても好きだ。
しかし、市民の方は知らない人が多く、もっと広報していいのではないかと思う。子ども達が本館や分館で絵本や本を読んで育ち、大人になったら赤煉瓦文化館で開催されているような講座に行きたいという、あこがれを持つような大人の文化館として、企画や方向性をもっと生かし、独自性を出して欲しい。

映像資料部門

① 映像資料の収集

- ◎ フィルムアーカイブがあるのは総合図書館の大きな特徴なので、予算を獲得して様々なジャンルの映画を収集する努力をして欲しい。
- ◎ 映像資料について各分館に目録を設置し、予約できるようにして欲しい。
- ◎ 昔の素晴らしい映画などを天神や博多など、交通の便の良い場所に期間限定で貸出して上映してはどうか。
- ◎ 地域の公民館などに映像資料が移動できるならば、移動上映などが良い。日本人にとっては映像から入ってくる感覚は、文字とは違う感覚の入り方で、とても良いものだと思う。

- ◎ 貴重な映像資料ですが、映像も出前が可能ならば、市民センター等で上映が出来るのか、総合図書館に来ないと見られないではなく、簡単ではないと思うが、出前映像というのも今後、考えないといけないと思う。
 - ◎ 出来たら総合図書館の古い映像資料をDVD化してもらえると助かる。
 - ◎ 映像資料の保存に配慮しつつ、各市民センターに出前映写をしても良いのでは。
- ② 映像ホール「シネラ」
- ◎ アジアフォーカス・福岡国際映画祭の作品が総合図書館の映像ホール「シネラ」でも上映されれば、総合図書館の認知度を高める一助になるのではと思う。
 - ◎ 知っている人は地方など全国からでも来ている。しかし、知らない人も結構いるようだ。もう少し、色々な広報があった方が良いと思う。
 - ◎ 総合図書館には、映像ホールがあるが、アピール度というかまだまだ皆に届いていないと感じる。
 - ◎ やはり映像ホールの認知度が低いと思う。広報というか知っていただくことが必要である。
- ③ ビデオライブラリー
- ◎ ビデオの貸出が、果たしてこのまま続けられるのかという状態になりつつある。
 - ◎ 今はDVDが普及し、ビデオという言い方は古いのではないか。映像資料など抽象的な言い方になるとわかりにくくなる。名称を考え直すべきだと思う。
 - ◎ 公民館でも映像資料を活用して、生涯学習の推進を進めたいが、公民館で使える映像資料の充実を図って、貸出等を行ってほしい。
 - ◎ ビデオライブラリーの方向性については、今後の収集に関しては、メディアがどう動くか解らない状態にあるということと民間の格安なレンタル店があるということから、限りある予算なので、ビデオは収集できないから本や貴重な資料に重点を置くとした方が市民にも理解が得られると思う。
 - ◎ 懇話会意見書の課題では「映像資料の貸出においては、再生機器等の技術革新により、従来の映像・音響資料が各家庭で利用できなくなり、運営の継続について検討する必要がある。」としている。この点をどう変更していくのか、検討する必要がある。

3. 運営関連

① 開館時間の延長及び休館日

- ◎ 開館時間延長の要望があるが、職員の待遇が悪化しないようにして欲しい。
- ◎ 学校行事で土曜日か日曜日に出校した場合は翌月曜日が代休となるが、図書館など公共施設が月曜休館で利用できない。休館日をずらすなどの検討を行うべき。
- ◎ 休館日について、福岡市の図書館は月に5日間の休館があり、福岡市内どこも開いていない。休み無しというのは難しいと思うが、他の政令市の休館日のように月1回の休みとか検討が必要である。
- ◎ 福岡市は月曜日と月末に全館一斉に休館日となっている。休館日を一館だけでもずらして欲しい。
- ◎ 各分館、本館の休館日を一斉にするのではなくて、今日はここはお休みだけど、こちらに行けば開館しているような休館日の見直しをお願いしたい。
- ◎ その地域の特性を生かした開館時間・時間の設定というのを考えても良いのでは。
- ◎ 福岡市の図書館は月に5日間お休みがある。その他、年末年始、図書整理期間があり、利用出来ない日数が結構ある。開館時間だけでなく同時に開館日数というのを検討していただきたい。
- ◎ 開館時間の延長は、都心部であれば遅くてもいいのだが、離れている場合には夜遅くやっても利用者も職員も帰りのことを考えると必ずしも良いとは思えない。
- ◎ 開館時間延長は、現場職員の待遇問題にも関わるので、その点を充分配慮する必要がある。もし、実施するならば地下鉄沿線にある分館を考えたら良いと思う。
- ◎ 短期的なビジョンとしては、分館の開館時間を総合図書館に合わせ19時まで開館して欲しい。
中期的なビジョンは武雄市のように年中無休というのは難しいと思いますが朝9時から夜9時まで開館して欲しい。
- ◎ 他の指定都市の図書館では休館の曜日や開館時間帯をずらしている所があるので、参考にすべきだと思う。図書館では、休館日にしかできない作業もあり、年中無休は難しいと思う。

② 図書館と他施設との連携

- ◎ ふくふくプラザ、アジア都市研究所、ココロンセンターと図書館の連携を検討して欲しい。
- ◎ 公民館は小学校区毎に一館あるので、その図書室を強化することも必要だと思う。
- ◎ 図書館と博物館・美術館とのネットワークというものを謳った方が良い。
- ◎ 博物館等との連携について、図書館と距離的にも近いですのでぜひ強化してネットワークの充実を図っていただきたい。

- ◎ MLA連携に賛成である。図書館法にあるように、博物館・美術館・図書館・文書館などがしっかり連携する必要がある。
- ◎ ふくふくプラザ図書館とのネットワーク化を検討して欲しい。

③ 予算の確保

- ◎ 「新ビジョン」の中で、必要な予算の獲得についても、記載して欲しい。
- ◎ 予算削減は、子どもたちに対する未来への投資を減少させ、子どもたちの未来を不安にさせることにつながる。また、生涯学習にとっても、予算削減は、良い結果は生み出さない。

④ 職員の資質の向上

- ◎ 図書館に配属された事務職員はほとんど司書資格を持っていない。さらに3～5年で異動になる。図書館に配属される市の職員は、司書資格を持った専門の職員が配属され、図書館に長く勤務できるよう要望したい。
- ◎ 2階の職員の方は、専門的なレファレンスというか、色々尋ねられることが多いように感じる。本当に職員は一生懸命応えているが、より一層の勉強の時間が必要だと感じた。そのためには職員が勉強をする時間がとれるような人員配置を行うことや、工夫が必要ではないかなと思う。
- ◎ 図書館職員は、専門的な知識を持って、司書らしい仕事をしていただきたい。司書の知識と経験等を踏まえて市民にサービスをしていただきたいので、その日の雑務に追われ、本来の司書の仕事が出来ないということがないように、司書が司書らしく力を発揮出来るような図書館を目指していただきたい。
- ◎ 図書館司書の嘱託員は、利用者に対して一生懸命頑張っている姿を目の当たりにして、やっぱり今の待遇で良いのか、5年の雇い止めの問題もある。開館日数とか開館時間について、広げられていくと当然勤務日数と勤務時間が関わってくるので非常に慎重を要すると思う。
- ◎ 職員の司書資格の有無を一般職員にみ比べると、嘱託職員とあまりにも差がある。図書館で働く一般職員の管理部門以外は、出来れば全員有資格者で構成することを目指して欲しい。すぐにとということではないが、将来的に目指していく方向にならないと、いわゆる、嘱託職員を指導していくことは、不可能だと思う。
- ◎ 一般職員の3倍近い嘱託職員でこの館は運営しているということなので、職員の個々人の資質は高くないと困る。専門職ではない一般職がやる仕事と、嘱託職員に割り振っている(任せている)仕事の内容をもっと切磋して欲しい。

⑤ 管理運営（指定管理者制度）

- ◎ 図書館運営への民間活力の導入については、開館時間の延長と引き替えに司書の能力低下を招くことや司書資格を持っていない職員が勤務するなどの民間活力の導入はやめてもらいたいと思う。人と人が結びつけられるような暖かい図書館であって欲しいので、効率・効果・合理性だけを求めてはならないと感じた。
- ◎ 利用者として図書館に望むことは、より高いサービスの向上である。先日視察した指定管理者制度を利用した「くまもと森プラザ図書館」は、3つの点で優れていた。それは、①利用者至上主義、②司書のフロア一回り利用者に対する声かけ、③学習室の充実である。しかし、仮に福岡市図書館へ同制度導入しても、どれだけサービスが向上するのか見えてこないもので、導入の検討の際は、メリット、デメリットを明確にして、幅広く意見を聞いて欲しい。

- ◎ 図書館の運営に関しては、直営で先ず出来る事が沢山あると思う。民間委託にしたら3点程、ダメだと思うところがあるが、1つは図書館の継続性。安定性が失われるということ。3年～5年で業者が変わっていくと、ずっと積み重ねてきたノウハウといったものが失われていく。2つ目は、図書館は無料の原則があるので、委託業者は利益を生むことが出来ないで職員の賃金を抑えることがあると思う。それから3つ目は、基本的人権の一つである知る権利の保障が、出来にくくなると思う。民間業者はどうしても利潤追求になってくるので、それが後回しになって知る自由を持つ国民に対して資料と施設を提供することが失われるということである。

⑥ その他

- ◎ 市民と図書館がともに資質を上がっていく方に重点をおき、公民館におけるお話しボランティアさん、図書館のボランティアさんが、もっと幅を伸ばすような学習会などを開いていただきたい。
- ◎ 総合図書館の駐車場有料化に関して、2時間まで無料にして欲しい。これまでの2時間入れ替えを維持していくべきである。

図書館における指定管理者制度の導入の検討結果について 2013 年調査（報告）

2013 年 8 月 22 日

日本図書館協会図書館政策企画委員会

I 調査の概要

図書館における指定管理者制度の導入の検討結果について全国的な状況を把握するために標記の調査を実施した。4 月 30 日付で 47 都道府県立図書館に依頼文書と調査票を郵送し、回答期限は 6 月 25 日とした。8 月 20 日までに 46 図書館から回答をいただいた。

II 調査結果

(1) 都道府県立図書館について

表 1 都道府県立図書館の検討状況について

検討結果	回答数	図書館名	指定管理者の性格等
2006 年度に導入をした	1	岩手県立図書館	民間企業
2007 年度に導入をした	1	岡山県立図書館	※1
2013 年度に導入した	1	愛知県図書館	※1
検討の結果、導入しないとしている	34		
合計	37		

- ・「検討の結果、導入しないとしている」の回答数に「現時点で導入は考えていない」を含む
- ・※1：施設管理のみ
- ・「検討中」「検討をおこなっていない」、未記入等があわせて 9 件あった。

(2) 市区町村立図書館について

- ・別表 1 は本調査の回答にこれまでの調査等で確認した情報を加えて作成した。
- ・別表 1 中、図書館名に※を付した館は、集計には含まれていない（「日本の図書館 2012」の調査・集計対象による）。
- ・2013 年度以降に導入を予定している自治体数については全体の数を公表するにとどめた。
- ・指定管理者制度を導入し、直営に変更したのは長野県の飯島町図書館、島根県の安来市立図書館、出雲市立大社図書館、出雲市立平田図書館、香川県の善通寺市立図書館、福岡県の小郡市立図書館、佐賀県の佐賀市立東与賀図書館、愛知県の新城図書館の 8 館である。これらは集計に含まれていない。

表 2 市区町村立図書館の検討状況（自治体数）

	特別区	政令市	市	町村	合計
2012 年度までに導入	10	6	100	40	156
2013 年度に導入予定	4	3	10	5	22
2014 年度以降に導入を予定					36

表 3 市区町村立図書館の検討状況（図書館数）

	特別区	政令市	市	町村	合計
2005～2012 年度に導入	79	40	170	44	333
2013 年度に導入予定	18	7	24	6	55

表 4 2012 年度までに導入した館の指定管理者の性格（図書館数）

		特別区	政令市	市	町村	合計
図書館数		79	40	170	44	333
指定管理者の性格	①民間企業	76	29	118	17	240
	②NPO	2	0	24	11	37
	③公社財団	0	11	22	12	45
	④その他	1	0	6	4	11

④その他：未定を含む

表 5 2012 年度までに導入した館の導入年度（図書館数）

		特別区	政令市	市	町村	合計
図書館数		79	40	170	44	333
導入年度	～2005 年度	0	6	3	2	11
	2006 年度	0	18	29	11	58
	2007 年度	24	0	18	7	49
	2008 年度	6	4	34	3	47
	2009 年度	21	4	24	3	52
	2010 年度	22	4	25	10	61
	2011 年度	3	0	14	1	18
	2012 年度	3	4	23	7	37

※ 各年調査による。

別表1 図書館名のあとの()は導入年度、○付数字は指定管理者の性格)①民間企業、②特定非営利活動法人(NPO)、③公社・財団等、④その他

特別区

都道府県	2012年度までに導入した図書館	
東京都	足立区立鹿浜図書館(2007)	①
東京都	足立区立伊興図書館(2007)	①
東京都	足立区立興本図書館(2007)	①
東京都	足立区立新田コミュニティ図書館(2007)	①
東京都	足立区立花畑図書館(2008)	①
東京都	足立区立竹の塚図書館(2008)	①
東京都	足立区立保塚図書館(2009)	①
東京都	足立区立舎人図書館(2009)	①
東京都	足立区立やよい図書館(2009)	①
東京都	足立区立東和図書館(2009)	①
東京都	足立区立佐野図書館(2009)	①
東京都	足立区立江北図書館(2009)	①
東京都	板橋区立氷川図書館(2008)	①
東京都	板橋区立東板橋図書館(2008)	①
東京都	板橋区立小茂根図書館(2008)	①
東京都	板橋区立赤塚図書館(2009)	①
東京都	板橋区立成増図書館(2009)	①
東京都	板橋区立清水図書館(2009)	①
東京都	板橋区立蓮根図書館(2009)	①
東京都	板橋区立高島平図書館(2009)	①
東京都	板橋区立西台図書館(2009)	①
東京都	板橋区立志村図書館(2009)	①
東京都	江戸川区立篠崎図書館(2008)	①
東京都	江戸川区立葛西図書館(2010)	①
東京都	江戸川区立西葛西図書館(2010)	①
東京都	江戸川区立東葛西図書館(2010)	①
東京都	江戸川区立清新町コミュニティ図書館(2010)	①
東京都	大田区立大森南図書館(2007)	①
東京都	大田区立大森東図書館(2007)	①
東京都	大田区立大森西図書館(2007)	①
東京都	大田区立馬込図書館(2007)	①
東京都	大田区立池上図書館(2007)	①
東京都	大田区立久が原図書館(2007)	②
東京都	大田区立洗足池図書館(2007)	①
東京都	大田区立浜竹図書館(2007)	②
東京都	大田区立羽田図書館(2007)	①
東京都	大田区立六郷図書館(2007)	①
東京都	大田区立下丸子図書館(2007)	①
東京都	大田区立多摩川図書館(2007)	①
東京都	大田区立蒲田図書館(2007)	①
東京都	大田区立蒲田駅前図書館(2007)	①
東京都	大田区立入新井図書館(2010)	①
東京都	新宿区立戸山図書館(2009)	①
東京都	新宿区立北新宿図書館(2009)	①
東京都	新宿区立中町図書館(2009)	①
東京都	新宿区立四谷図書館(2010)	①
東京都	新宿区立角筈図書館(2010)	④
東京都	新宿区立大久保図書館(2010)	①
東京都	新宿区立鶴巻図書館(2011)	①
東京都	新宿区立西落合図書館(2011)	①
東京都	杉並区立成田図書館(2007)	①
東京都	杉並区立阿佐谷図書館(2007)	①
東京都	杉並区立永福図書館(2010)	①
東京都	杉並区立方南図書館(2010)	①
東京都	杉並区立宮前図書館(2010)	①
東京都	杉並区立高井戸図書館(2010)	①
東京都	千代田区立千代田図書館(2007)	①
東京都	千代田区立四番町図書館(2007)	①

都道府県	2012年度までに導入した図書館	
東京都	千代田区立昌平まちかど図書館(2007)	①
東京都	千代田区立神田まちかど図書館(2007)	①
東京都	千代田区立日比谷図書文化館(2011)	①
東京都	文京区立本郷図書館(2010)	①
東京都	文京区立小石川図書館(2010)	①
東京都	文京区立本駒込図書館(2010)	①
東京都	文京区立水道端図書館(2010)	①
東京都	文京区立目白台図書館(2010)	①
東京都	文京区立千石図書館(2010)	①
東京都	文京区立湯島図書館(2010)	①
東京都	文京区立根津図書室(2010)	①
東京都	文京区立大塚公園みどりの図書室(2010)	①
東京都	文京区立天神図書館(2010)	①
東京都	港区立三田図書館(2009)	①
東京都	港区立高輪図書館(2009)	①
東京都	港区立赤坂図書館(2009)	①
東京都	港区立港南図書館(2009)	①
東京都	練馬区立南田中図書館(2009)	①
東京都	練馬区立大泉図書館(2012)	①
東京都	練馬区立貫井図書館(2012)	①
東京都	練馬区立春日町図書館(2012)	①

政令市

都道府県	2012年度までに導入した図書館	
宮城県	仙台市広瀬図書館(2008)	①
宮城県	仙台市榴岡図書館(2012)	①
神奈川県	横浜市山内図書館(2010)	①
静岡県	浜松市立流通元町図書館(2010)	①
静岡県	浜松市立西図書館(2012)	①
静岡県	浜松市立積志図書館(2012)	①
兵庫県	神戸市立灘図書館(2008)	①
兵庫県	神戸市立垂水図書館(2008)	①
兵庫県	神戸市立西図書館(2008)	①
兵庫県	神戸市立兵庫図書館(2009)	①
兵庫県	神戸市立北図書館(2009)	①
兵庫県	神戸市立北図書館北神分館(2009)	①
兵庫県	神戸市立新長田図書館(2009)	①
兵庫県	神戸市立三宮図書館(2010)	①
兵庫県	神戸市立須磨図書館(2010)	①
広島県	広島市立中央図書館(2006)	③
広島県	広島市こども図書館(2006)	③
広島県	広島市立中区図書館(2006)	③
広島県	広島市立東区図書館(2006)	③
広島県	広島市立南区図書館(2006)	③
広島県	広島市立西区図書館(2006)	③
広島県	広島市立安佐南区図書館(2006)	③
広島県	広島市立安佐北区図書館(2006)	③
広島県	広島市立安芸区図書館(2006)	③
広島県	広島市立佐伯区図書館(2006)	③
広島県	広島市まんが図書館(2006)	③
福岡県	北九州市立門司図書館(～2005)	①
福岡県	北九州市立門司図書館大里分館(～2005)	①
福岡県	北九州市立門司図書館新門司分館(～2005)	①
福岡県	北九州市立国際友好記念図書館(～2005)	①
福岡県	北九州市立戸畑図書館(～2005)	①
福岡県	北九州市立戸畑図書館戸畑分館(～2005)	①
福岡県	北九州市立八幡図書館(2006)	①
福岡県	北九州市立八幡図書館八幡東分館(2006)	①
福岡県	北九州市立八幡図書館大池分館(2006)	①
福岡県	北九州市立八幡図書館折尾分館(2006)	①
福岡県	北九州市立八幡図書館八幡南分館(2006)	①
福岡県	北九州市立八幡西図書館(2012)	①
福岡県	北九州市立若松図書館(2006)	①
福岡県	北九州市立若松図書館島郷分館(2006)	①

市

都道府県	2012年度までに導入した図書館	
北海道	市立釧路図書館(2008)	①
北海道	市立留萌図書館(2009)	②
北海道	千歳市立図書館(2007)	①
青森県	八戸市図書情報センター(2009)	①
青森県	八戸市立南郷図書館(2009)	①
青森県	三沢市立図書館(2008)	①
山形県	天童市立図書館(2008)	③
山形県	新庄市立図書館(2009)	④
山形県	長井市立図書館(2009)	①
山形県	東根市さくらんぼ図書館(2010)	②
茨城県	潮来市立図書館(2010)	①
栃木県	栃木市栃木図書館(2009)	④
栃木県	栃木市大平図書館(2007)	①
栃木県	真岡市立図書館(2009)	①
栃木県	矢板市立図書館(2008)	①
栃木県	大田原市立図書館(2010)	①
栃木県	大田原市立黒羽図書館(2010)	①
栃木県	宇都宮市立南図書館(2011)	①
栃木県	日光市立今市図書館(2012)	①
栃木県	日光市立日光図書館(2012)	①
栃木県	日光市立藤原図書館(2012)	①
栃木県	那須塩原市西那須野図書館(2012)	①
栃木県	那須塩原市黒磯図書館(2012)	①
栃木県	那須塩原市塩原図書館(2012)	①
栃木県	那須烏山市立南那須図書館(2012)	①
栃木県	那須烏山市立烏山図書館(2012)	①
群馬県	伊勢崎市赤堀図書館(2007)	③
埼玉県	春日部市立庄和図書館(2010)	①
埼玉県	富士見市立図書館鶴瀬西分館(2008)	①
埼玉県	富士見市立中央図書館(2010)	①
埼玉県	富士見市立図書館ふじみ野分館(2010)	①
埼玉県	吉川市立図書館(2010)	①
埼玉県	所沢市立所沢図書館所沢分館(2012)	①
埼玉県	所沢市立所沢図書館所椿峰分館(2012)	①
埼玉県	所沢市立所沢図書館狭ヶ丘分館(2012)	①
埼玉県	所沢市立所沢図書館富岡分館(2012)	①
埼玉県	所沢市立所沢図書館吾妻分館(2012)	①
埼玉県	所沢市立所沢図書館柳瀬分館(2012)	①
埼玉県	所沢市立所沢図書館新所沢分館(2012)	①
千葉県	市川市市川駅南口図書館(2009)	①
千葉県	流山市立北部地域図書館(2008)	②
千葉県	流山市立森の図書館(2011)	①
千葉県	流山市立木の図書館(2012)	①
千葉県	野田市立北図書館(2007)	①
千葉県	野田市立せきやど図書館(2006)	①
千葉県	野田市立南図書館(2007)	①
千葉県	習志野市立東習志野図書館(2012)	①
千葉県	習志野市立新習志野図書館(2012)	①
千葉県	習志野市立藤崎図書館(2012)	①
千葉県	習志野市立谷津図書館(2012)	①
東京都	稲城市アイプラザ図書館(2009)	①
東京都	立川市幸図書館(2010)	①
東京都	立川市錦図書館(2010)	①
東京都	ひと・まち・情報創造館武蔵野プレイス(2011)	③
神奈川県	綾瀬市立図書館(2008)	①
新潟県	三条市立図書館(2008)	①
新潟県	三条市立図書館栄分館(2008)	①
新潟県	三条市立図書館下田分館(2008)	①

都道府県	2012年度までに導入した図書館	
新潟県	長岡市立互尊文庫(2008)	①
新潟県	長岡市立西地域図書館(2008)	①
新潟県	長岡市立南地域図書館(2008)	①
新潟県	長岡市立北地域図書館(2008)	①
新潟県	長岡市立中之島地域図書館(2008)	①
新潟県	長岡市立寺泊地域図書館(2008)	①
新潟県	長岡市立栃尾地域図書館(2008)	①
新潟県	見附市図書館(2007)	②
新潟県	南魚沼市図書館(2006)	③
新潟県	妙高市図書館(2006)	③
新潟県	十日町図書館(2012)	④
石川県	羽咋市立図書館(2008)	①
山梨県	韮崎市立図書館(2011)	①
長野県	駒ヶ根市立図書館(2006)	③
長野県	駒ヶ根市立図書館東伊那分館(2006)	③
長野県	駒ヶ根市立図書館中沢分館(2006)	③
岐阜県	関市立図書館(2009)	④
岐阜県	高山市図書館(2006)	①
岐阜県	多治見市図書館(2006)	③
岐阜県	多治見市図書館笠原分館(2008)	③
岐阜県	多治見市図書館子ども情報センター(2006)	③
岐阜県	瑞浪市民図書館(2008)	②
愛知県	あま市美和図書館(2008)	①
愛知県	蒲郡市立図書館(2009)	②
愛知県	江南市立図書館(2007)	①
愛知県	高浜市立図書館(2009)	①
愛知県	知多市立中央図書館(2009)	①
愛知県	津島市立図書館(2007)	②
愛知県	常滑市立図書館(2009)	①
愛知県	清須市立図書館(2012)	①
三重県	伊勢市立伊勢図書館(2006)	①
三重県	伊勢市立小俣図書館(2009)	①
三重県	松阪市松阪図書館(2009)	①
三重県	松阪市嬉野図書館(2009)	①
大阪府	大東市立中央図書館(2008)	①
大阪府	大東市立西部図書館(～2005)	①
大阪府	大東市立東部図書館(2012)	①
大阪府	大阪狭山市立図書館(2007)	①
大阪府	摂津市民図書館(2011)	①
大阪府	摂津市立鳥飼図書館センター(2011)	①
大阪府	和泉市立和泉図書館(2011)	①
大阪府	和泉市立シティプラザ図書館(2011)	①
兵庫県	伊丹市立図書館北分館(2006)	②
兵庫県	伊丹市立図書館南分館(2006)	③
兵庫県	加古川ウェルネスパーク図書館(2006)	①
兵庫県	明石市立図書館(2006)	①
兵庫県	明石市立西部図書館(2006)	①
兵庫県	尼崎市立北図書館(2011)	①
奈良県	五條市立図書館(2010)	①
奈良県	桜井市立図書館(2011)	①
島根県	江津市図書館(2006)	③
島根県	江津市図書館桜江分館(2006)	③
岡山県	新見市立哲西図書館(～2005)	②
広島県	尾道市立因島図書館(2006)	③
広島県	府中市立図書館(2009)	①
広島県	三次市立図書館(2010)	①
広島県	三次市立君田図書館(2010)	①
広島県	三次市立布野図書館(2010)	①

市(続き)

都道府県	2012年度までに導入した図書館	
広島県	三次市立作木図書館(2010)	①
広島県	三次市立吉舎図書館(2010)	①
広島県	三次市立三良坂図書館(2010)	①
広島県	三次市立三和図書館(2010)	①
広島県	三次市立甲奴図書館(2010)	①
山口県	下関市立中央図書館(2009)	①
徳島県	阿波市立阿波図書館(2007)	①
徳島県	阿波市立土成図書館(2007)	①
徳島県	阿波市立市場図書館(2007)	①
徳島県	阿波市立吉野笠井図書館(2007)	①
徳島県	徳島市立図書館(2008)	①
徳島県	美馬市立脇町図書館(2009)	①
徳島県	三好市井川図書館(2006)	④
愛媛県	今治市立中央図書館(2008)	①
愛媛県	今治市立波方図書館(2008)	①
愛媛県	今治市立大三島図書館(2008)	①
愛媛県	今治市立大西図書館(2011)	①
愛媛県	四国中央市川之江図書館(2010)	②
愛媛県	四国中央市おやこ図書館(2011)名称変更	②
愛媛県	四国中央市三島図書館(2010)	②
愛媛県	四国中央市土居図書館(2010)	②
高知県	土佐清水市立市民図書館(2006)	②
福岡県	直方市立図書館(2006)	③
福岡県	行橋市図書館(2006)	③
福岡県	中間市民図書館(2006)	③
福岡県	大野城まどかびあ図書館(2006)	③
福岡県	大宰府市民図書館(2006)	③
福岡県	豊前市立図書館(2008)	②
福岡県	飯塚市立飯塚図書館(2008)	①
福岡県	飯塚市立庄内図書館(2008)	①
福岡県	飯塚市立ちくほ図書館(2008)	①
福岡県	大牟田市立図書館(2007)	①
佐賀県	鹿島市民図書館(2009)	④
長崎県	島原図書館(2006)	③
長崎県	島原市有明図書館(2007)	③
熊本県	荒尾市立図書館(2006)	①
熊本県	菊池市立泗水図書館(2007)	②
大分県	佐伯市立佐伯図書館(2008)	②
宮崎県	えびの市民図書館(2008)	②
宮崎県	串間市立図書館(2006)	②
宮崎県	小林市立図書館(2008)	②
鹿児島県	阿久根市立図書館(～2005)	②
鹿児島県	いちき串木野市立図書館(2009)	①
鹿児島県	いちき串木野市立図書館市来分館(2009)	①
鹿児島県	西之表市立図書館(2009)	②
鹿児島県	指宿市立指宿図書館(2007)	②
鹿児島県	指宿市立山川図書館(2007)	②
鹿児島県	鹿屋市立図書館(2008)	①
鹿児島県	曾於市立図書館(2010)	①
鹿児島県	曾於市立図書館大隈分館(2010)	①
鹿児島県	曾於市立図書館財部分館(2010)	①
鹿児島県	出水市立中央図書館(2011)	①
鹿児島県	出水市立高尾野図書館(2011)	①
鹿児島県	出水市立野田図書館(2011)	①

町村

都道府県	2012年度までに導入した図書館	
北海道	大空町女満別図書館(2007)	③
北海道	大空町東藻琴図書館(2007)	③
北海道	栗山町図書館(2008)	②
北海道	中標津町図書館(2010)	③
青森県	藤崎町図書館大夢(2012)	②
宮城県	丸森町立金山図書館(2010)	④
山形県	河北町立中央図書館(2007)	②
山形県	川西町立図書館(2007)	②
福島県	矢吹町図書館(2009)	②
栃木県	那須町立図書館(2009)	①
栃木県	上三川町立図書館(2010)	①
栃木県	高根沢町立図書館(2010)	①
栃木県	高根沢町立図書館仁井田分館(2010)	①
栃木県	高根沢町立図書館上高根沢分館(2010)	②
栃木県	市貝町立図書館(2012)	①
埼玉県	伊奈町立図書館(2009)	①
埼玉県	毛呂山町立図書館(2010)	②
埼玉県	宮代町立図書館(2011)	①
新潟県	刈羽村立図書館(2006)	③
山梨県	山中湖情報創造館(～2005)	②
長野県	根羽村立図書館(2006)	④
長野県	南牧村図書館(2012)	③
岐阜県	美濃白川楽集館(2008)	③
岐阜県	大野町立図書館(2007)	①
愛知県	幸田町立図書館(2006)	③
愛知県	武豊町立図書館(2012)	①
三重県	明和町立図書館(2007)	①
兵庫県	稲美町立図書館(～2005)	②
兵庫県	播磨町立図書館(2006)	①
徳島県	那賀町木頭図書館(2010)	②
香川県	多度津町立明德会図書館(2006)	③
香川県	ライブラリーうたづ※	③
香川県	三木町文化交流プラザ情報資料館※	③
香川県	綾川町立図書館(2012)	①
香川県	綾川町立綾上図書館(2012)	①
愛媛県	砥部町立図書館(2010)	①
高知県	佐川町立図書館(2006)	②
福岡県	那珂川町図書館(2006)	③
福岡県	岡垣サンリーアイ図書館(2006)	③
福岡県	遠賀町立図書館(2006)	①
福岡県	上毛町立図書館(2007)	③
福岡県	久山町民図書館(2010)	①
長崎県	時津町立時津図書館(2006)	③
鹿児島県	徳之島町立図書館(2006)	④
沖縄県	北中城村あやかりの杜図書館(2008)	②
沖縄県	本部町立図書館(2012)	④